

Pシリーズ リテラー アセンブリ マニュアル

cervélo

velo

目次

| | | | |
|-------------------|----|-------------------------|----|
| 重要な情報。 | 1 | 機械ケーブルの取り付け。 | 14 |
| ツールと部品リスト..... 2 | | GU02 システムカバリアセンブリの取り付け。 | 15 |
| Pシリーズ部品リスト。 | 3 | トップチューブ SmartPak の取り付け。 | 16 |
| 小さな部品。 | 4 | シートポストアセンブリ.....17 | |
| フレームの手帳。 | 5 | シートポストの切断手順。 | 19 |
| フォークの準備と取り付け。 | 7 | シートポスト Di2 バッテリーの取り付け。 | 20 |
| ブレーキ ハウジングのルーチング。 | 9 | エアロウォーターボトルの取り付け。 | 21 |
| 電線配線。 | 11 | タイヤクリアランス..... 22 | |
| 電線工事。 | 12 | エアロスルーアスルの取り付け。 | 23 |
| 機械ケーブル配線.....13 | | | |

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo正規販売店の皆様がCervélo Pシリーズの組み立てと調整を行うためのものです。このマニュアルでは、Cervéloコンポーネントの取り付け、および変速およびブレーキ制御ラインの配線に関する手順とプロセスについて概説しています。このマニュアルに記載されている専用部品は、Cervélo Cycles Inc.からのみ入手可能です。

指定された部品を使用し、本組立説明書に従わない場合、走行中に制御不能に陥り、重傷を負う可能性があります。本マニュアルは、サードパーティの部品メーカーが提供する組立・整備説明書に代わるものではありません。また、組立作業者は訓練を受けたプロの自転車整備士であることを前提としています。<https://www.probma.org/> をご覧ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、Pシリーズ自転車のオプション調整を行うための手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。Cervéloは、すべての組み立ておよび調整手順をCervélo正規販売店にご依頼いただくことを強くお勧めします。

注意: このマニュアルは、Cervélo 一般ユーザーマニュアルを補充するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補完することを目的としています。

注: すべての昇降コンポーネントは、地元の販売代理店から入手できます。

| ツール | |
|---|---|
|  | 自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド） |
|  | 2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ: |
|  | 六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm |
|  | オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm |
|  | ケーブルカッター |
|  | ペンチ |
|  | プラスドライバー |
|  | マイナスドライバー |

| ツール | |
|---|--------------------------------|
|  | ペダルレンチ |
|  | ブレーキローターロックリングツール |
|  | 油圧ブリードキット |
|  | イソプロピルアルコール |
|  | Di2ワイヤーツール - シマノ |
|  | 高品質の自転車用グリースとカーボンアセンプリコンパウンド |
|  | 鋸切断ガイド（Park Tool SG-7.2または同等品） |
|  | 弓のこ（カーボン専用刃付き） |

Pシリーズ部品リスト

| アイテムの説明 | サーヴェロ部品番号 |
|-----------------------------------|----------------|
| トップチューブブレーキホース シフト住宅ガイド キット | HBP-GU02-CVR |
| BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0 | |
| チェーンステプロテクター Pシリーズ | プロ-CS-P |
| ねじ付きフォークインサート QRI-THD | |
| シートポストクランプ アセンブリPシリーズ | SPC-0E0P |
| SP23 カーボンシートポスト 頭付き | SP-SP23 |
| UCI P5 シートポスト | SP-CER-UCI-ACB |
| SP21.SP23サドル クランプスラグ | SPS-SP2123 |
| シートポストウォーターボトル マウント | MT-WB-SP |
| Pシリーズシートポスト バッテリーマウント | MT-BINT-SP |
| エアロウォーターボトル ケージ | WB-WB01 |

| アイテムの説明 | サーヴェロ部品番号 |
|---|-------------|
| ディレイラーハンガー付き 取り付けナット | DRH-WMN112 |
| シマノダイレクトマウント RDH (取り付けナット付き) | DRH-HR |
| サーヴェロ フロントエアロ スルーアクスル | QRA-AERO-F |
| サーヴェロ リアエアロ スルーアクスル | QRA-AERO-R |
| サーヴェロ フロントエアロ スルーアクスル - 取り外し可能 ハンドル | QRA-AERO2-F |
| サーヴェロ リアエアロ スルーアクスル - 取り外し可能 ハンドル | QRA-AERO2-R |
| フロントディレイラー 固定具付きマウント ネジ | FDM-0E0 |
| フロントディレイラー マウントブラנקプレート (1 個) | FDM-CVR |
| シートチューブブランキング プラグ (1個&ワイヤレス) | GR-ST-閉店 |

| アイテムの説明 | サーヴェロ部品番号 |
|-----------------------------------|------------------|
| シートチューブオープン グロメット (電子式) | GR-BEC-OPEN |
| D字型 圧縮プラグ | FKI-CL005-517A |
| ブレーキホースガイド | CBG-DBH |
| リアディレイラーワイヤー ガイド (電動) | GR-ドロップアウトガイド |
| リアディレイラー 押し込み式ケーブルストップ (機械) | CBS-ドロップアウト |
| リアディレイラー ブラנקプラグ (無線) | GR-DRPOUT-CLOSED |
| SmartPak400 (固定具付き) ネジ | SB-SB03-TT |
| ボトルボスカバー 皿 | CVR-WB |
| ベアリングキャップ 内部ルーティング | BC-533 |
| 14mmギャップ のスプリットリング | SR-H2384 |

小さな部品

Pシリーズ フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフト システムをシームレスに統合できるように設計されています。
そのためには、以下に示す部品が必要になります。

GU02 ステムカバー
組み立て
固定ネジ
HBP-GU02-CVR

シートポストクランプ
SPC-0E0P

ねじ付きフォーク
挿入w/
固定ネジ
QRI-THD

ブレーキホース
ガイド×2
CBG-DBH

ディレイラー
ハンガー固定
ナット

ダイレクトマウント
ディレイラー
ハンガー
DRH-HR

ディレイラー
ハンガー
DRH-WMN112

フロントディレイラー
固定具付きマウント
ネジ FDM-0E0

フロント
ディレイラー
マウント
ブラנק
プレート (1枚)
FDM-CVR

BBケーブル
ガイド/カバー
BBG-0E0

シートチューブブランキング
プラグ (1個&ワイヤレス)
GR-ST-閉店

シートチューブオープン
グロメット (電子式)
GR-BEC-OPEN

リアディレイラー
ワイヤーガイド
(電気)
GR-ドロップアウトガイド

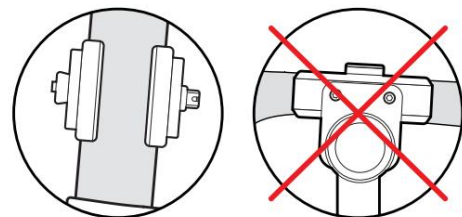
リアディレイラー
プレスインケーブル
停止 (機械式)
CBS-ドロップアウト

リアディレイラー
ブラנקプラグ
(無線)
GR-DRPOUT-CLOSED

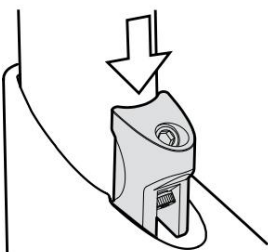
フレームの準備

⚠ WARNING

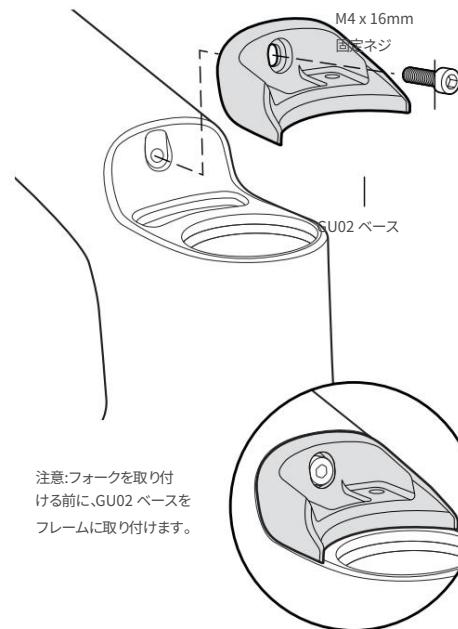
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



1. フレームとシートポストの両方にカーボンアセンブリコンパウンドを塗布します。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0P) をフレームに挿入し、トップチューブと同じ高さになるようにします。
3. 高さと同軸を最大 8Nm に調整します。

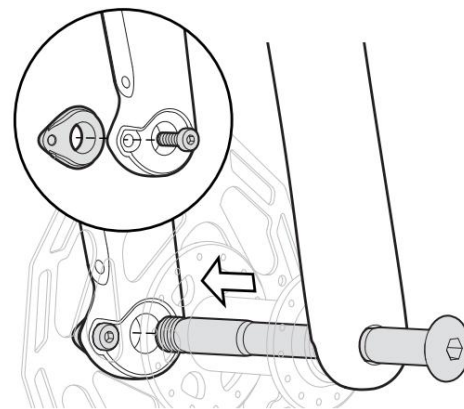


付属のM4固定ネジに軽くグリスを塗り、GU02ベースを取り付けます。*1~2Nmのトルクで締めます。

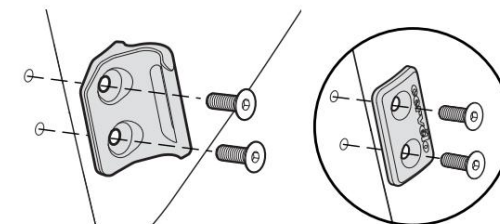


注意: フォークを取り付ける前に、GU02ベースをフレームに取り付けます。

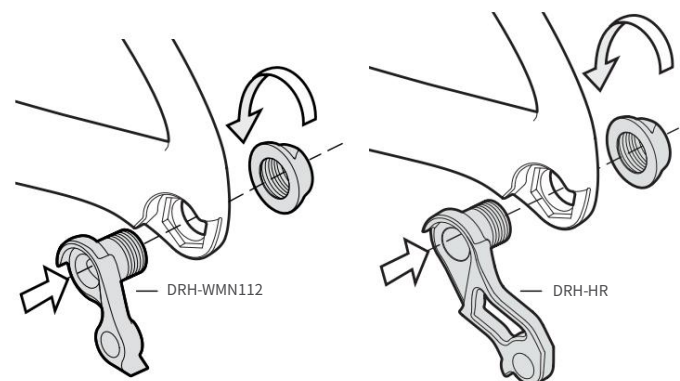
*構成によっては、GU02ベースの前にEワイヤをフレームに取り付ける必要があります。



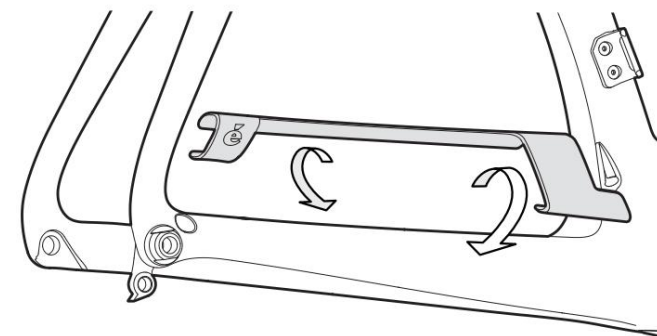
1. 付属のM4固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ねじ付きフォークインサート (QRI-THD) の取り付け固定ネジは軽く締めるだけにしてください。
2. ホイールを取り付けない状態で車軸を取り付けます
フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレードを圧縮しない程度まで締めます。
3. 固定ネジを3Nmに締めます。
4. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。
車軸を再度取り付け、12~15Nmで締めます。
5. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを 3Nm に再度締め付けます。



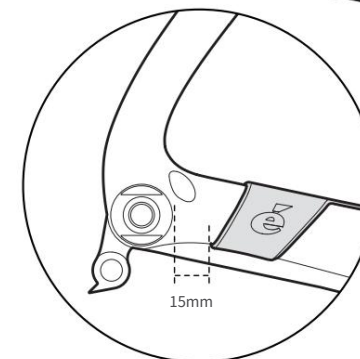
フロントディレイラーマウント (FDM-0E0) を取り付け、固定ネジが3Nmのトルクで締め付けられていることを確認してください。1xシステムの場合は、フロントディレイラーマウントブラッキングプレート (FDM-CVR) に交換してください。



リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリスを塗布し、リアディレイラーハンガー (DRH-WMN112) またはダイレクトマウントリアディレイラーハンガー (DRH-SDM) を指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールを取り付けた後に行います。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステープロテクター (PRO-CS-P) の粘着面をはがし、ガードをフレームに固定して取り付けます。ガード下端は、リアディレイラーハンガーナットの端から約15mm離れている必要があります。



⚠ WARNING

後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。ディレイラーの位置がずれ、変速不良が発生する可能性があります。

フォークの準備と取り付け

- ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。
- フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。
- 必要最低限の圧力をかける
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
- フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。
- フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりや切断ガイドのみを使用してください。
- D型コンプレッションプラグを挿入し、締め付けて固定します。ステムを取り付けた後で最終トルクをかけてください。
- 下部ベアリングをフォークステアラーの上に置き、ヘッドチューブの下からフレームに挿入します。
- ステアラーに、アッパーベアリング、スプリットリング、ベアリングトップキャップ、ステムスペーサー、ステムの順に取り付けます。ステムトップキャップは取り付けしないでください。
- 圧縮プラグを8Nmで締めます。
トルクレンチ。

- ステムトップキャップとプリロード固定ネジをステムに取り付けます。プリロードボルトは、ヘッドセットの遊びを完全になくし、ベアリングがスムーズに回転することを確認する程度に締め付けます（通常1〜2 Nm）。

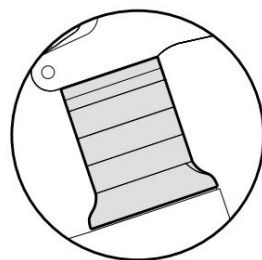
- ステムをフォークに固定するボルトを最大5Nmまで締めます。

WARNING

炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

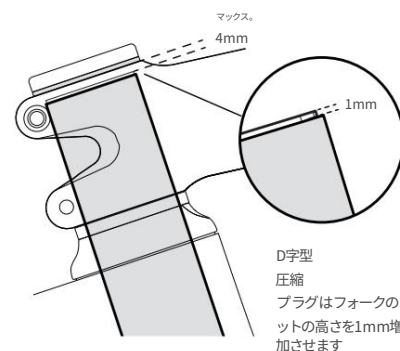
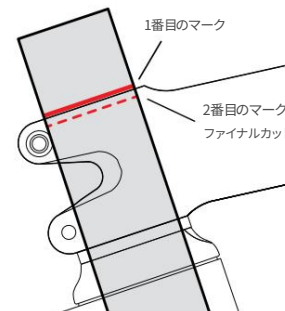
WARNING

ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。



WARNING

ベアリング トップ キャップを含めたスペーサーの合計最大高が 51 mm を超えないようにしてください。

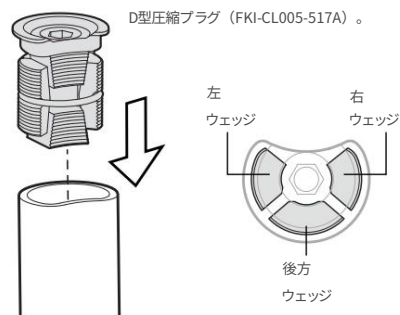


CAUTION

ステム上のスペーサーの合計が 5mm を超えないようにしてください。

CAUTION

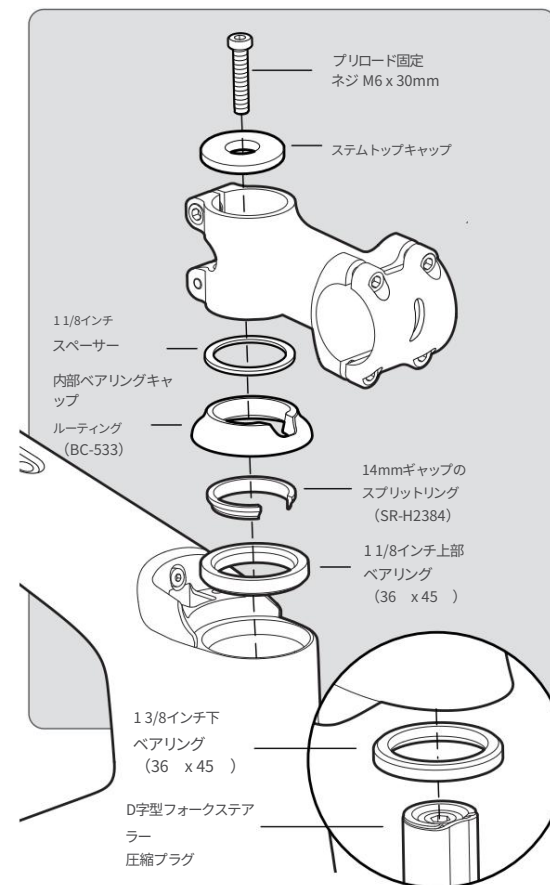
コンプレッションプラグの構成部品は左右で異なります。部品を誤って再組み立てすると、システムのプリロードが失われる可能性があります。正しい組み立て方法については、表示されている画像を参照してください。



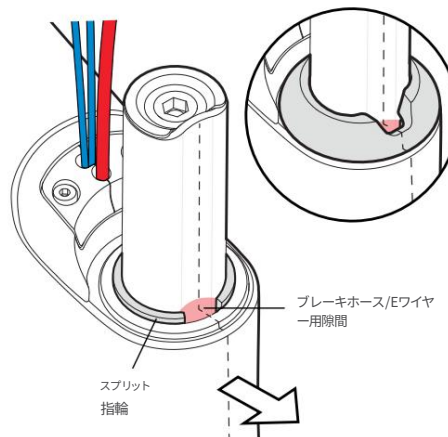
Dシェイプコンプレッションプラグをフォークステアラーに取り付け、軽く締め付けます。ステムとスペーサーを取り付けた後、8Nmの定格トルクで締め付けます。

WARNING

コンプレッションプラグは推奨最大トルク8Nmを超えて締め付けしないでください。8Nmを超える締め付けが必要な場合は、Cervéloカスタマーサービスまでご連絡ください。



注：この図は組み立ての参考用です。組み立てが完了すると、すべてのホースと制御ケーブルが揃います。



スプリット リングとベアリング トップ キャップの隙間がヘッド チューブの前側の中心に揃っていることを確認します。

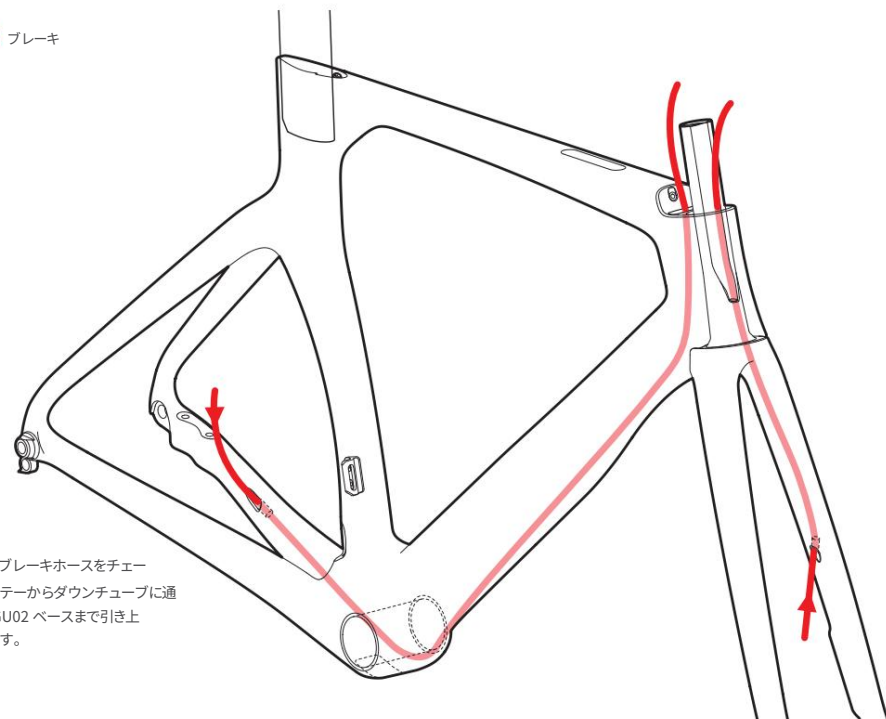
WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。

ブレーキハウジングのルーティング

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキの詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

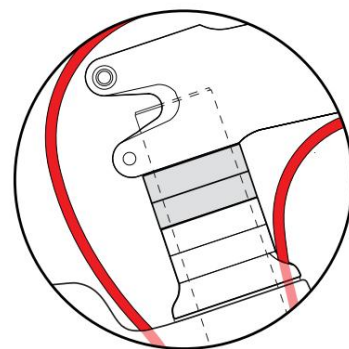
● ブレーキ



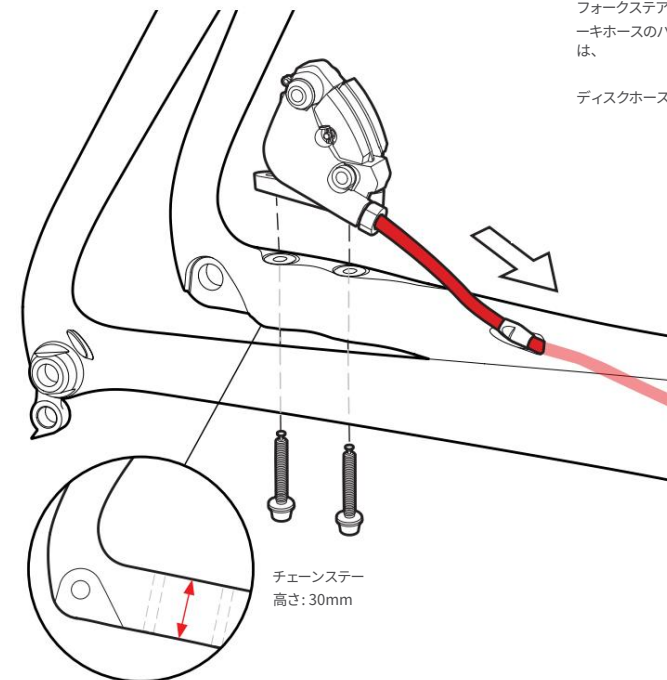
最終的な顧客の取り付けに必要な量に、ブレーキ ホースの長さを 20 ～ 25 mm 追加することをお勧めします。

そうすることで、分解や保守の目的に十分な長さを確保できます。

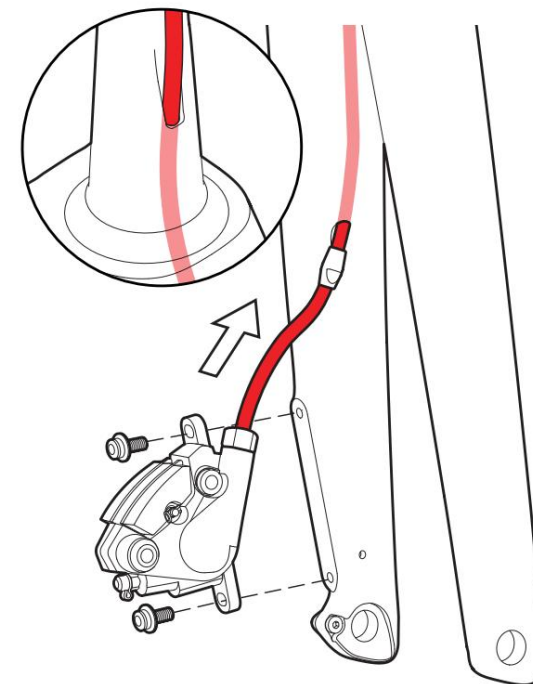
1. 顧客の適合性を測定する
2. スペーサーを20～25mm追加する
3. ブレーキホースを切断して取り付ける
4. 余分なスペーサーを取り外す
5. 組み立てを完了する



ディスクホースガイド (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。メーカーの指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。

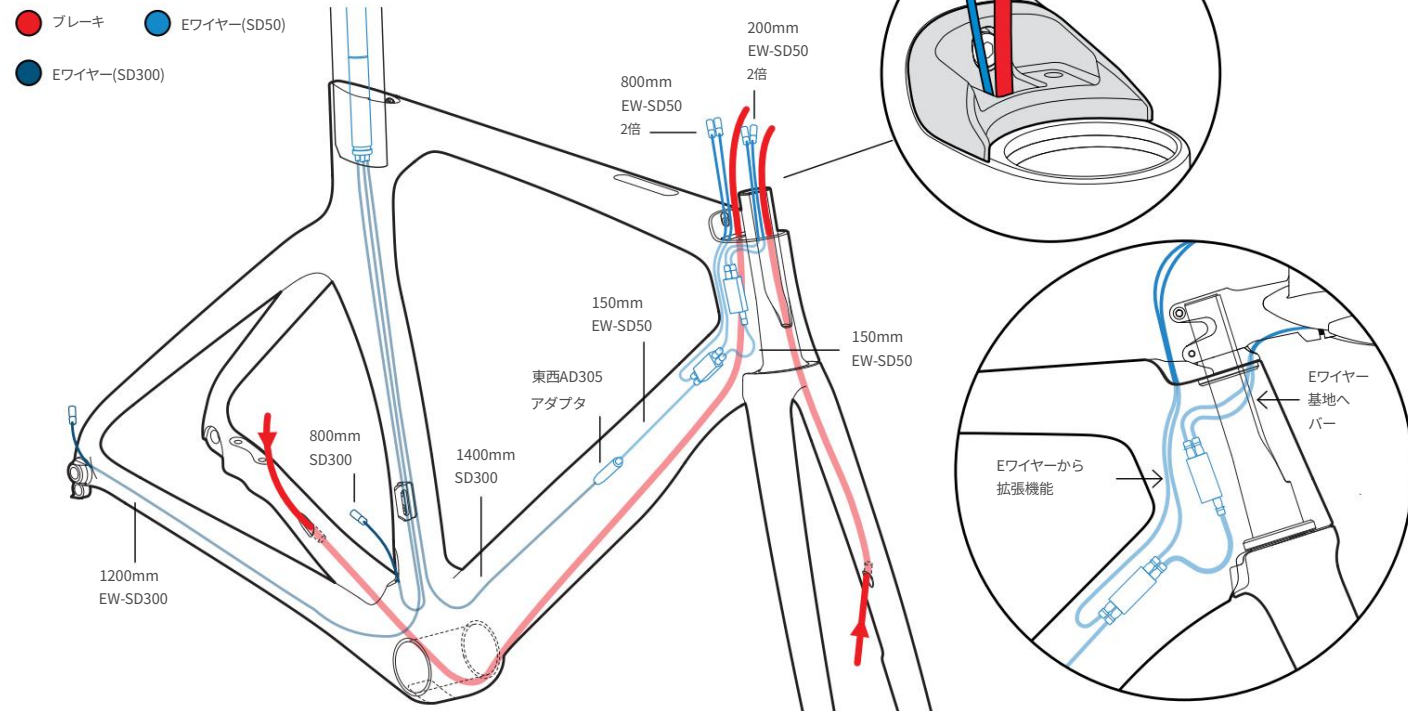


フォークステアラーのブレーキホースのパススルーには、
ディスクホースガイド

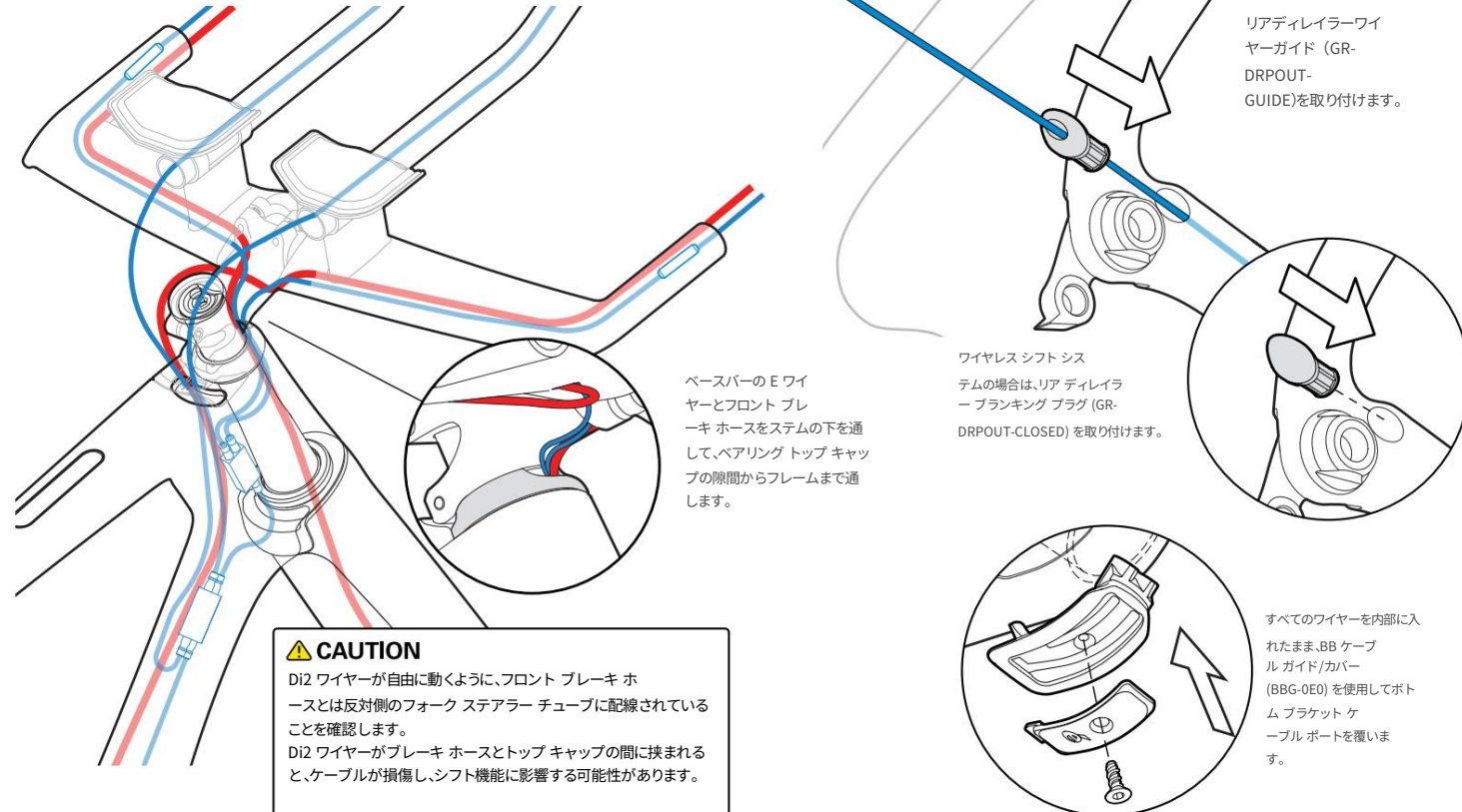


電線配線

ブレーキホースを取り付けた後に、配線と接続箇所を設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



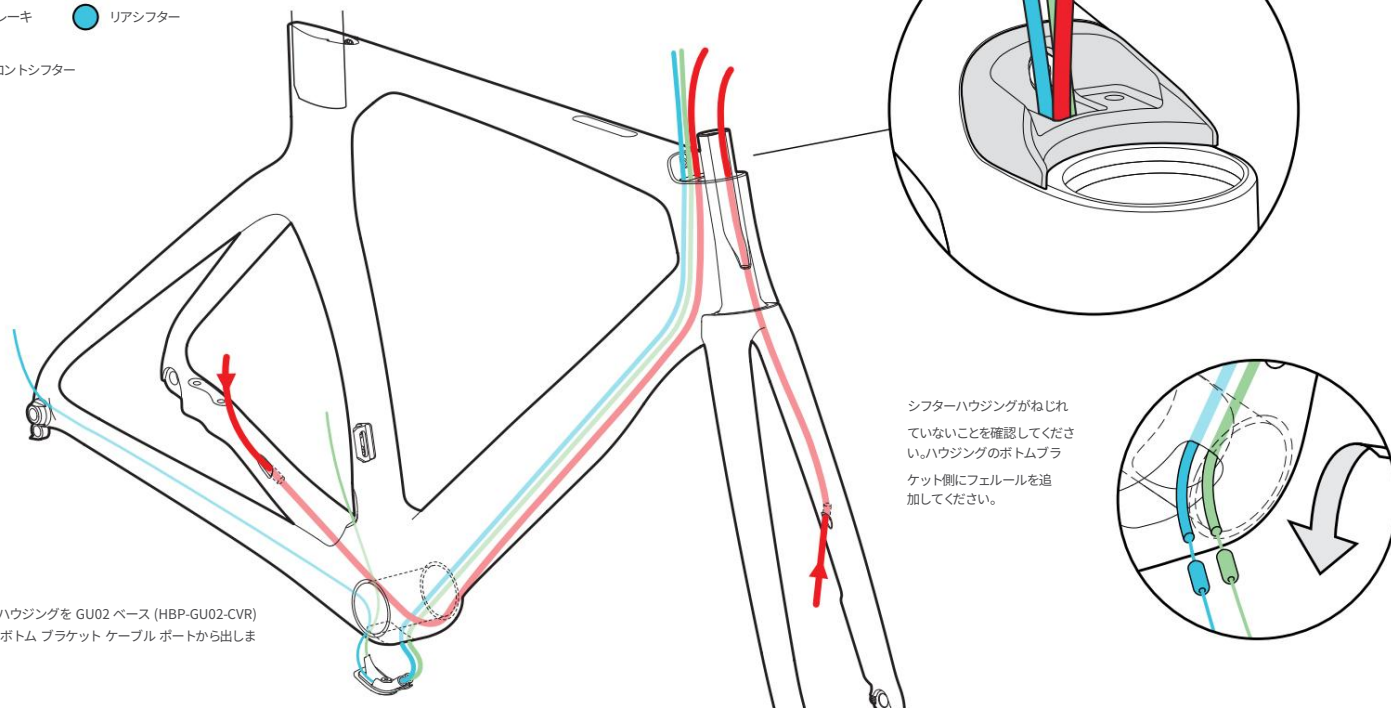
電線設置



機械ケーブル配線

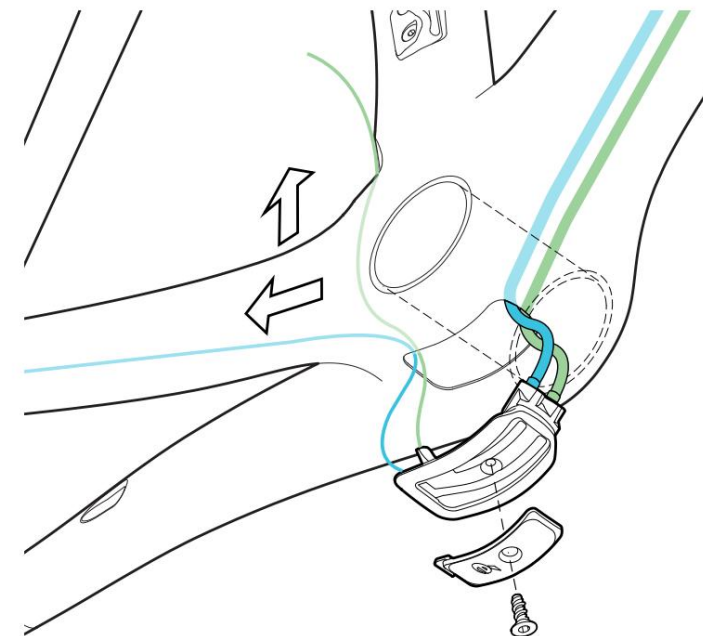
ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● リアシフター
● フロントシフター

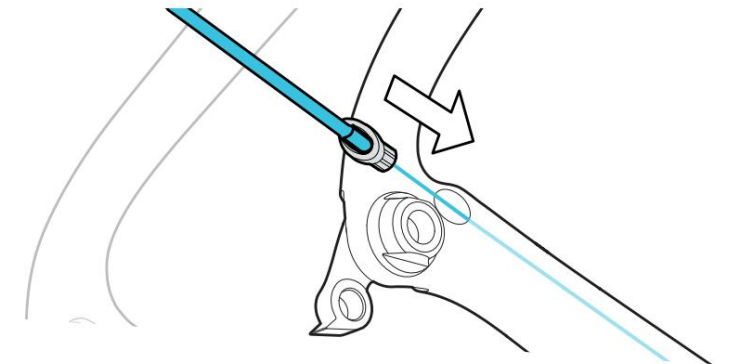


シフターハウジングをGU02ベース(HBP-GU02-CVR)に通して、ボトムブラケットケーブルポートから出します。

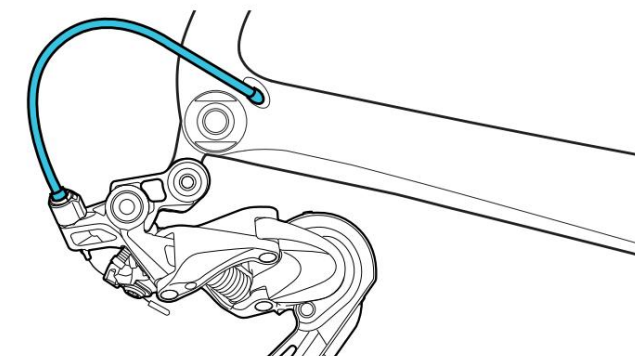
機械ケーブルの取り付け



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向に通します。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステイに沿って通します。完了したら、BBケーブルガイド/カバー(BBG-0E0)を所定の位置に固定します。

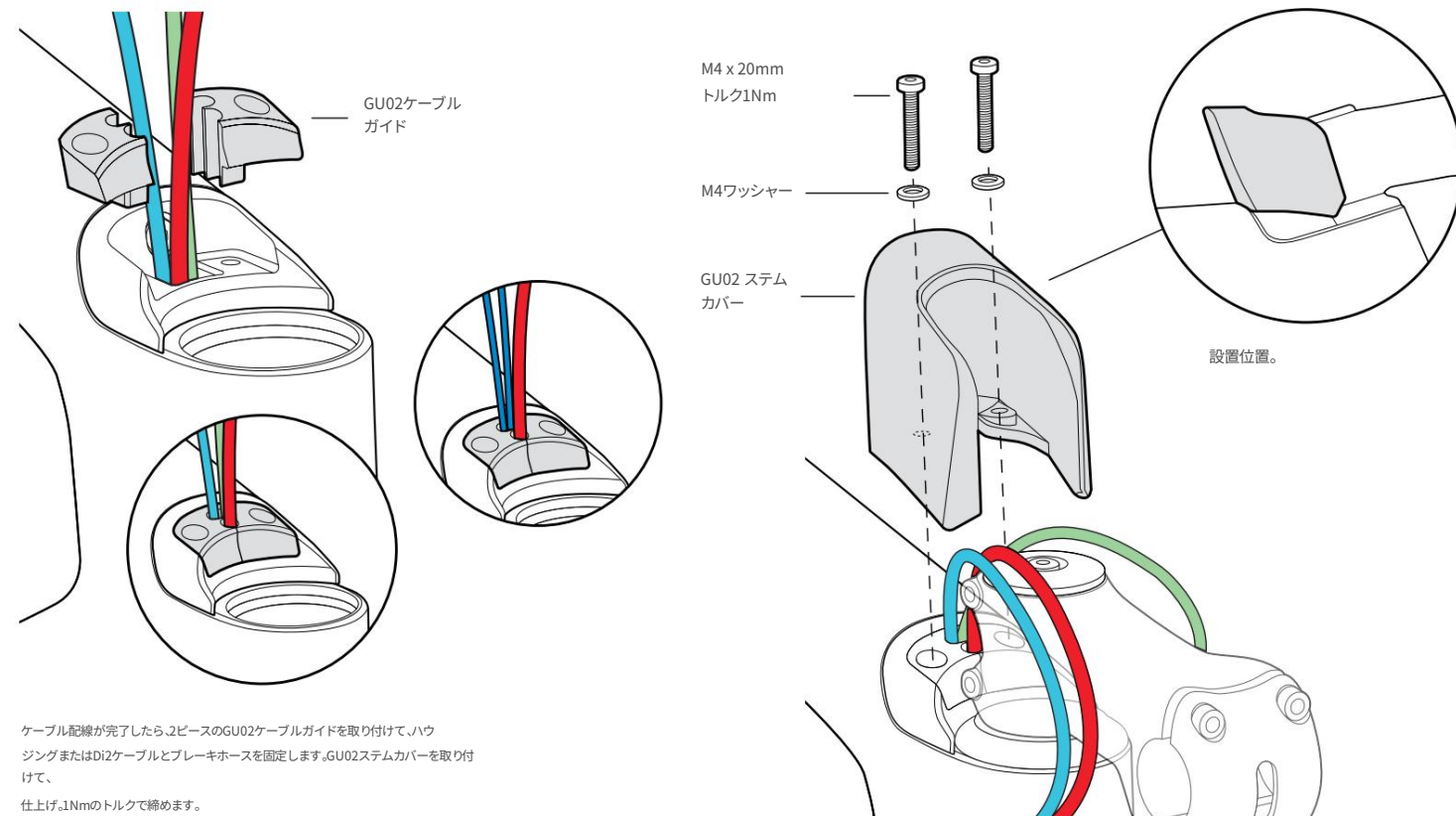


リアディレイラープレスインケーブルストップ(CBS-DRPOUT)を取り付けます。

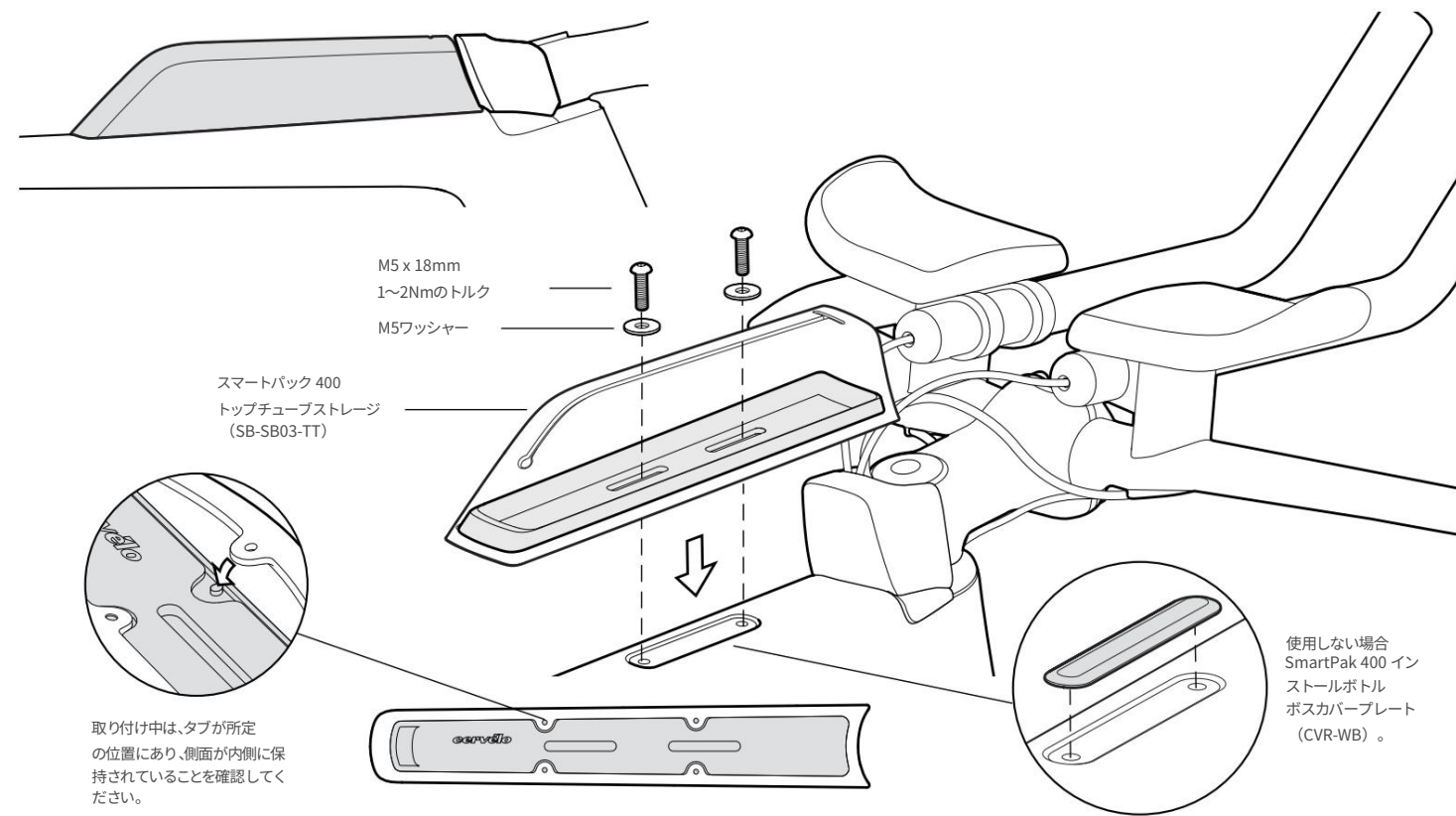


製造元の指示に従って、リアディレイラーを取り付けます。

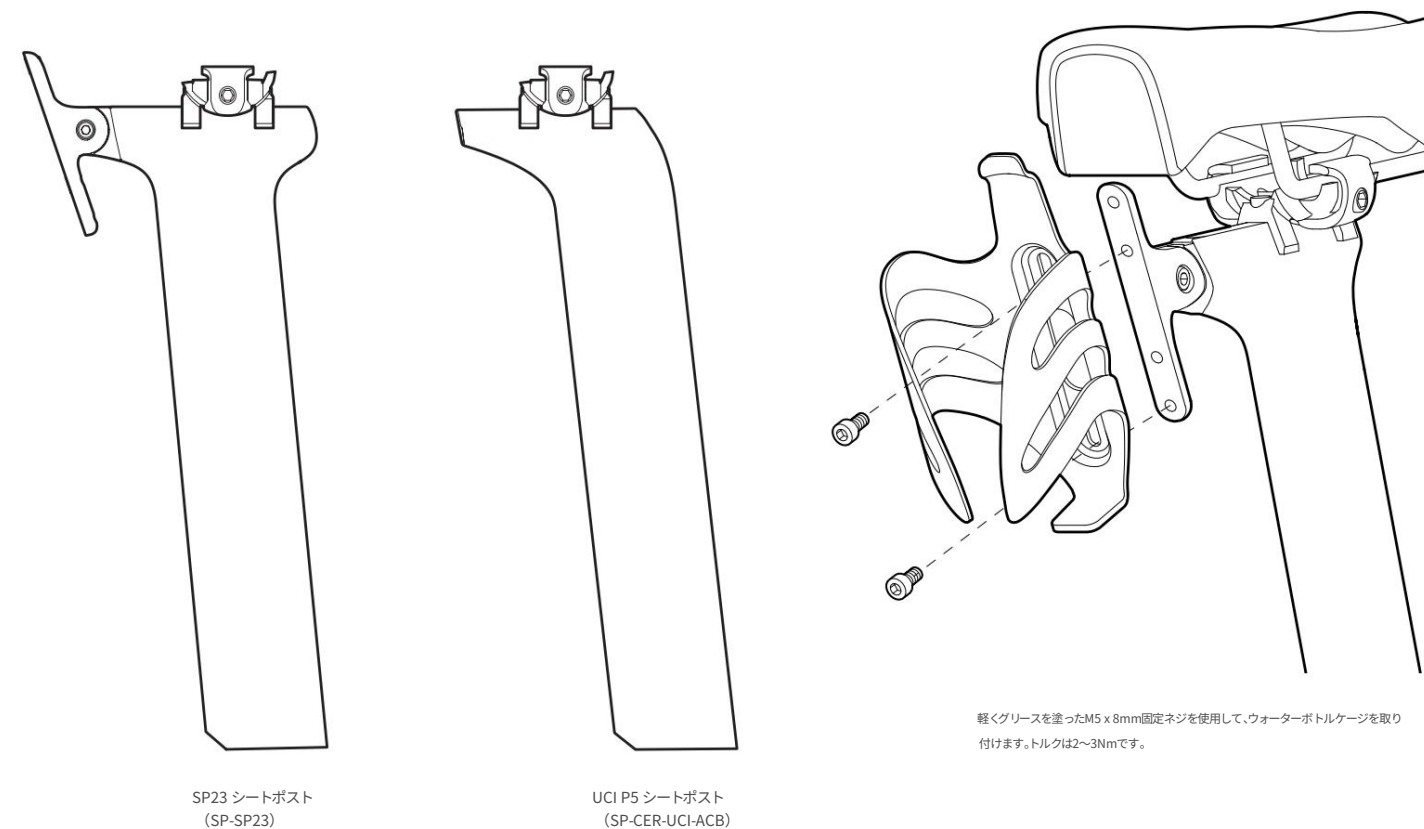
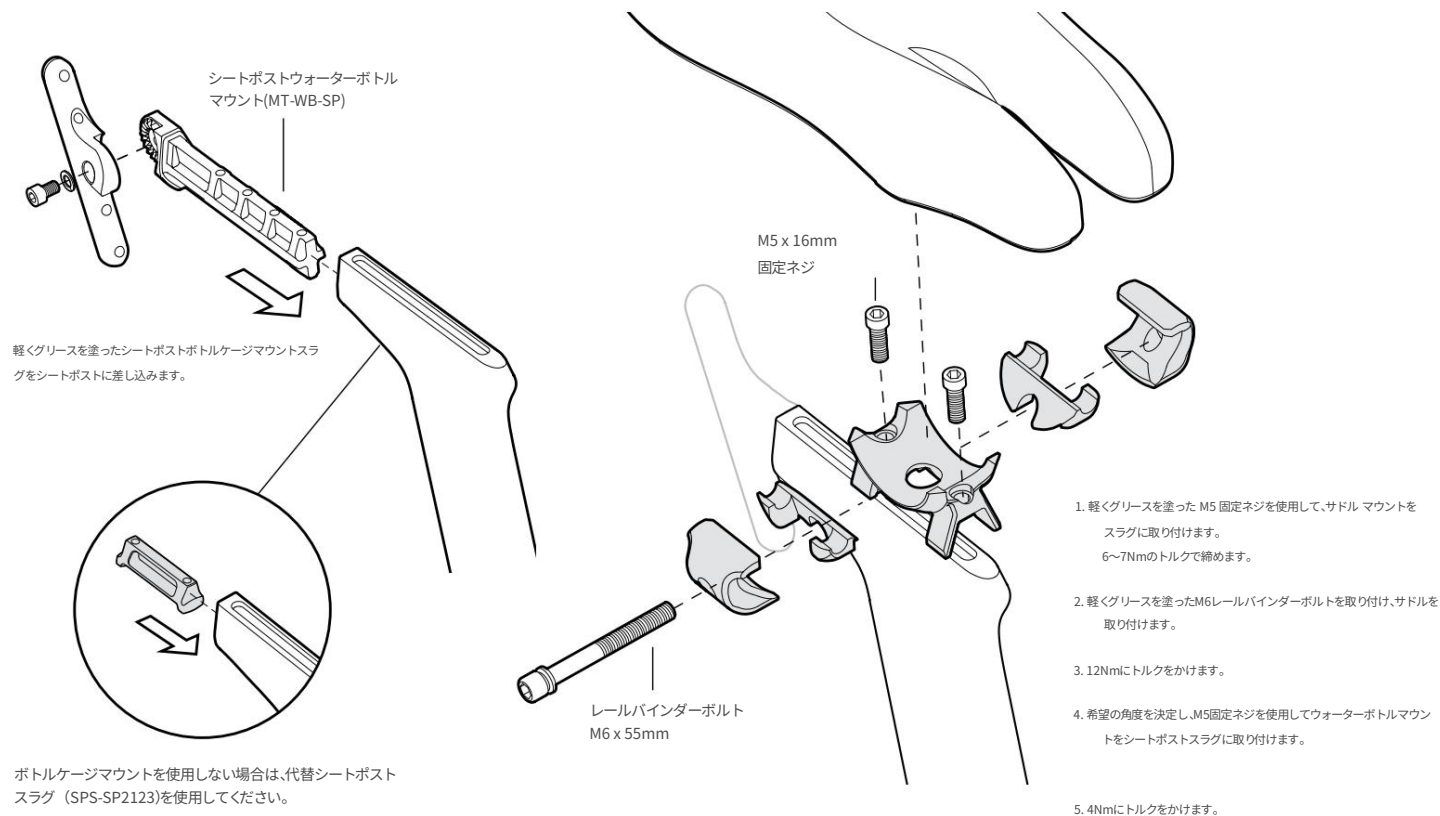
GU02 ステムカバーアセンブリの取り付け



トップチューブスマートパックの取り付け



シートポストアセンブリ



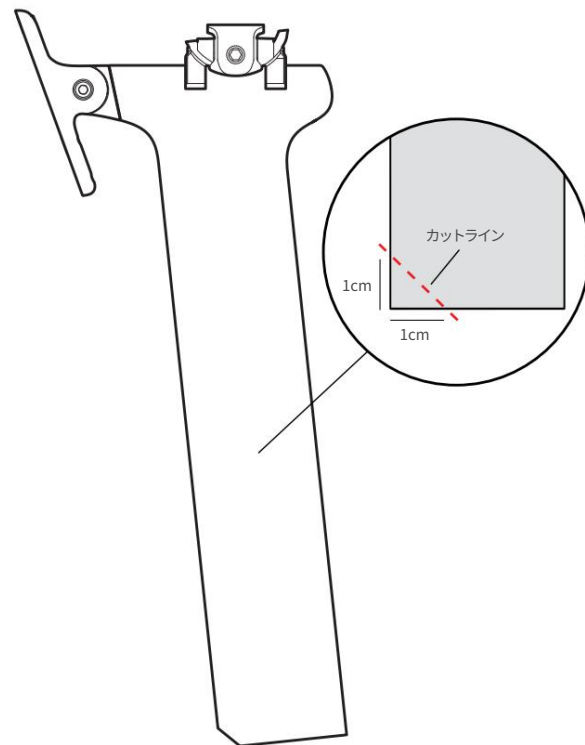
シートポストの切断手順

注:すべてのCervélo Aeroシートポストは、ポスト後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

1. シートポストの挿入距離を6.5cm以上維持し、最大 8.5cm まで慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。
2. P シリーズ シートポストを Park Tool SG-7.2 ソー ガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレード ガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. カーボン複合材の切断専用に設計されたブレード (または1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード)を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。
6. グリース ペンシルで印をつけた部分に鋸の刃を当て、慎重に切り込みを入れます。シートポストの後端に 45 度の面取りが切り込まれます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに。

⚠ WARNING

トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、ライダーに重大な怪我を負わせたり、保証の対象外となるフレームの損傷につながる可能性があります。

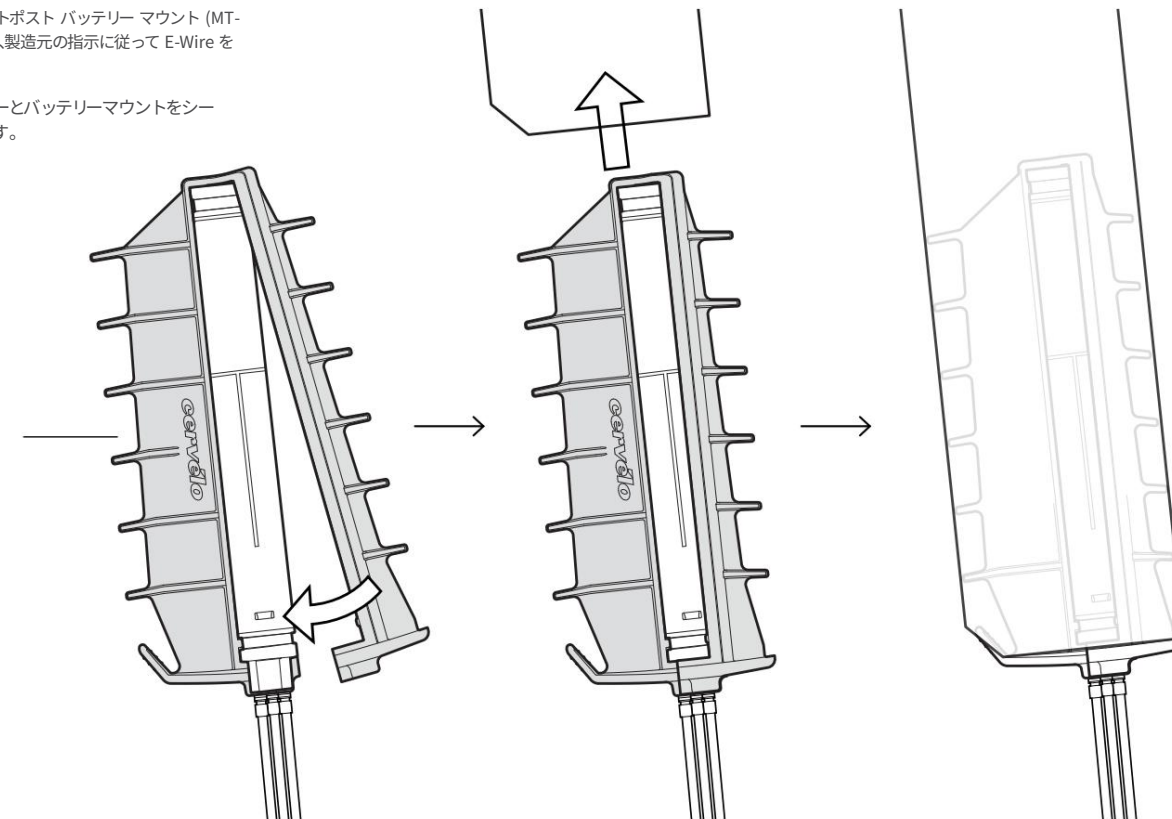


シートポストDI2バッテリーの取り付け

DI2 バッテリーをシートポスト バッテリー マウント (MT-BINT-SP) に押し込み、製造元の指示に従って E-Wire を取り付けます。

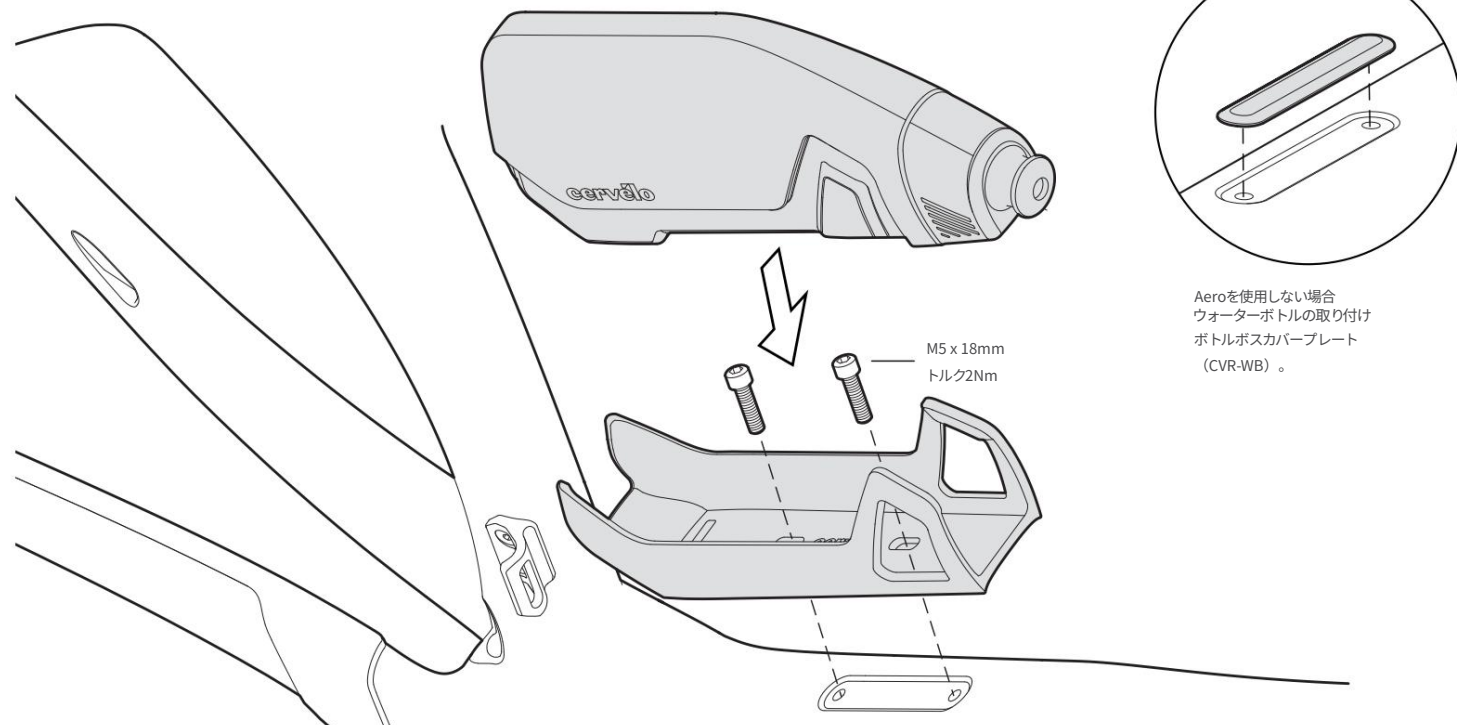
組み立てたバッテリーとバッテリーマウントをシートポストに挿入します。

Pシリーズシートポスト
バッテリーマウント
(MT-BINT-SP)



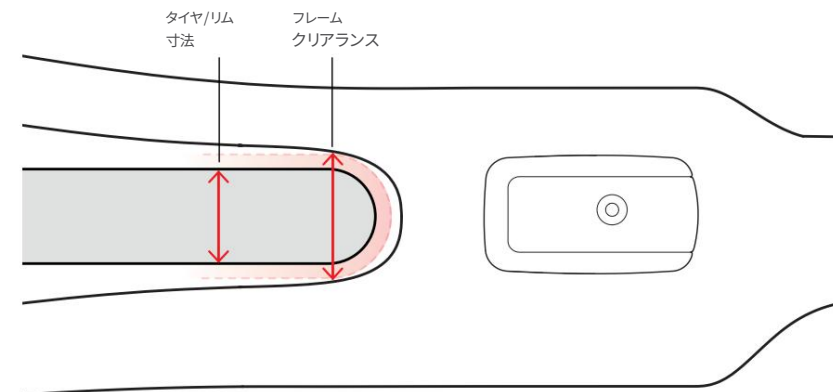
エアロウォーターボトルの取り付け

エアロ ウォーター ボトル (WB-WB01) ケージをフレームに取り付け、
M5 x 18mm 固定ネジを 2Nm に締めます。



タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



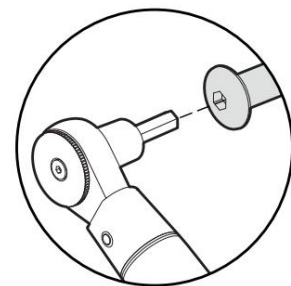
1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. その2つの数字のうち小さい方を使って、残りのスペースを決定するには、8mm (片側4mm) を差し引きします。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に空気を入れた状態で、リムまたはタイヤの最大幅を測定して、フィットすることを確認します。

⚠ WARNING

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重大な傷害を負う可能性があります。

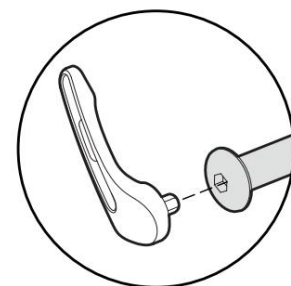
これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

エアロスルーアクスルの取り付け

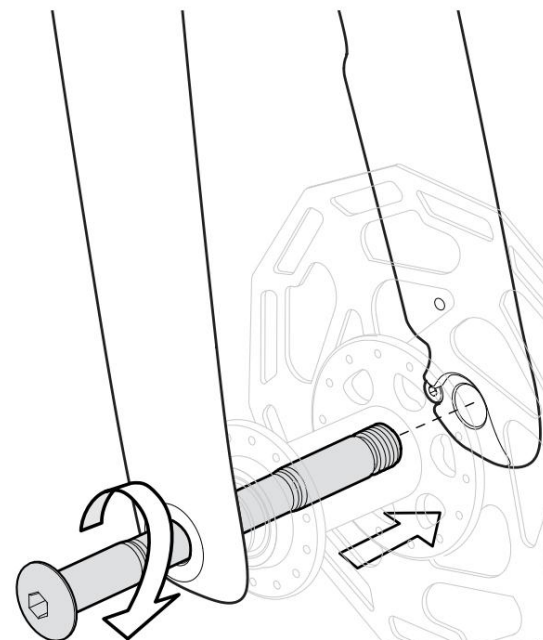


6mm六角レンチ/トルクレ
ンチ

または



サーヴェロエアロ
スルーアクスル付き
取り外し可能なハンドル
(QRA-AERO2-F &
QRA-AERO2-R)

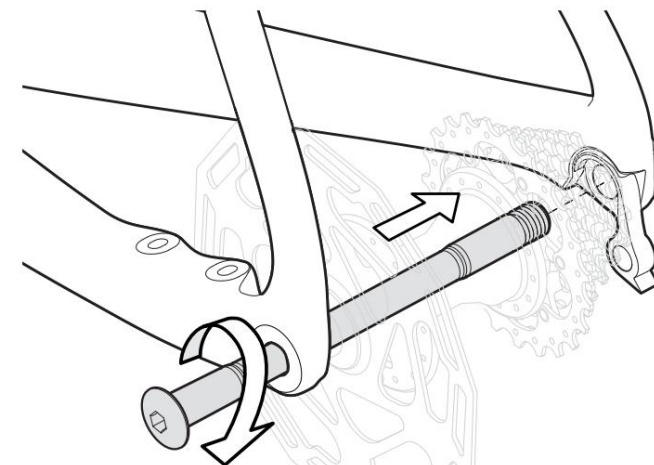
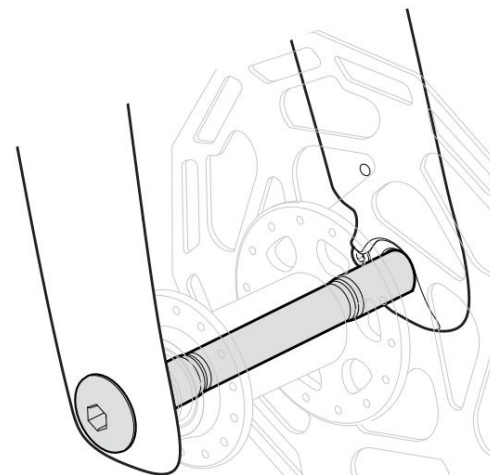


フロントア
クスルを12~
15Nmに締めます。

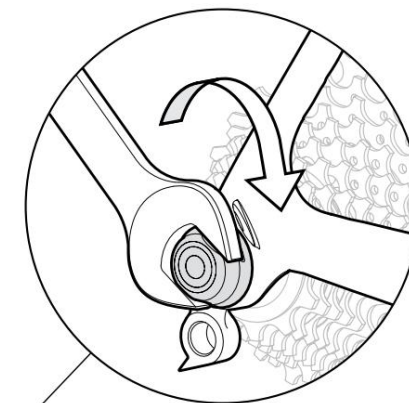
ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っかみ合ったら、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。

⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負う可能性のある事故につながる可能性があります。



リアアクスルを12~15Nmに
締めます。



17mmレンチを使用して、リアディレイラーハ
ンガーナットを最終締め付けします。トルクは
12~15Nmです。この締め付けは初期組み立て
時のみ行うため、追加の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

Pシリーズ リテラー アセンブリ マニュアル

www.cervelo.com

CER-PS-V3 2021-04-06

cervelo